

令和5年度東京都立飛鳥高等学校全日制課程 学校運営連絡協議会報告書

1 組織

(1) 都立飛鳥高等学校全日制課程 学校運営連絡協議会

(2) 事務局の構成 事務局長 総務国際交流部主任

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務部担当）、主幹教諭（生徒部担当）、
主幹教諭（進路指導部担当）、主任教諭（総務担当） 計7名

(4) 協議委員の構成

学識経験者(大学教授)、PTA 会長、近隣自治会代表、区教育委員会、近隣中学校長、
近隣保育園長、近隣児童相談所長、進学教育関係者 計7名

2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会の日時、出席者、内容、その他

○第1回 令和5年 6月 8日（木）15:30-16:50 内部委員7名、外部委員5名

学校長挨拶～委員委嘱、委員紹介、学校運営連絡協議会の概要説明

学校経営報告および学校経営計画について、年間の予定および目標等についての説明

○第2回 令和5年11月30日（木）15:30-16:50 内部委員7名、外部委員2名

学校の状況についての中間報告、学校評価アンケートの実施について等

○第3回 令和6年 3月15日（金）15:30-16:50 内部委員7名、外部委員2名

計画達成状況及び各分掌より年間まとめの報告、学校評価アンケート結果について分析考察等
の報告、アンケート及び学校運営に対する提言の依頼

3 学校運営連絡協議会による学校評価

(1) 学校評価の観点

学校運営、学習指導、授業内容、生活指導、進路指導、特別活動、募集・広報活動、
開かれた学校づくり、国際化、地域連携、施設、設備、ライフワークバランス等

(2) 学校評価アンケートの対象・実施時期・回収率

対象	実施時期	対象者	回答者	回収率
生徒	1月中旬	645名	611名	95%
保護者	1月中旬	645名	301名	47%
地域住民	1月～2月	50名	30名	60%
教職員	1月中旬	42名	42名	100%

(3) 主な評価項目

- ・生徒、保護者：学校生活の満足度、学校の特色の理解、開かれた学校づくり、授業、生活指導、進路指導、保護者との連携、教育活動、健康管理、施設設備、広報活動、ライフワークバランス推進
- ・地域：生徒の学校生活、開かれた学校づくり、学校の特色化、教育活動、校地の整備、地域との交流、広報活動
- ・教職員：授業対応、特別活動、生徒指導、校務対応、施設設備、ライフワークバランス推進、

(4) 評価結果概要

- ・生徒、保護者は、学校行事に対する充実感、選択科目の充実、生徒の希望や特性に応じた進路指導、英語教育の充実、国際交流への取組、開かれた学校づくり等を高く評価している一方、トイレ、照明等の設備について改善を望む意見が多く見られた。

- ・地域は、生徒の特別活動への取組、生徒の身だしなみやマナー、開かれた学校づくり、校地の整備アンケート等 11 項目中 10 項目を高く評価している。
- ・教職員の回答からは、授業の工夫、生徒の個性や能力を伸長する取組、生活指導、英語教育と国際交流への取組、授業公開や体験入学、保護者や地域と連携した教育活動等に注力している様子が見て取れる。特に、「授業を工夫した」と回答した比率が昨年度の 80%から 90%に増大した。一方で分掌間、個々の教職員間で仕事の標準化や仕事量の平準化が必要との意見がある。

(5) 評価結果の分析・考察

- ・本校が目標とする「生徒の興味・関心・適正に答える単位制教育課程」、「外国語教育、国際交流の充実」、「きめ細やかな学習指導」、「学校行事の充実」「開かれた学校づくり」は生徒、保護者の期待に十分応える事が出来ていると考えられる。
- ・地域からの高評価は、多くの生徒が学校生活に充実感を持っている事、生徒への生活指導、開かれた学校づくり等の取組等によるものと考えられる。
- ・教職員はコロナ感染症対策で従来と異なる授業を行う事を余儀なくされたが、その反面、様々な工夫やスキルを取入れた授業を行ってきた。この実績が、授業を工夫した教員数の増加に繋がっていると考えられる。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 得られた成果

- ・本校はその教育課程制度を活かし生徒、保護者、地域から高く評価される学校運営が行われていることが確認された。
- ・一方で、その良さが広く一般に知られていない事が改めて認識された。もっと人気の高い学校であるべきであり、広報内容として一般選抜合格者の増加やグラウンドの充実を強く訴える、広報媒体として保護者層への SNS 発信、地域の掲示板の活用などの案が出された。
- ・学校の強みを伸ばすに当たり、どういう授業づくりをしていくのかが不明確である事が指摘された。

(2) 明かとなった課題

- ・本校の良さを広く一般にアピールするための取組を新しい視点も加えて継続していく必要がある。
- ・どういう授業づくりをしていくのか、学校としての方針が不明確で共有化されていない。
- ・授業改善を行う部署が不明確である。

5 学校運営協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校運営

- ・校務について仕事の標準化と、分掌及び個人の仕事量の平準化を図る。
- ・どのような授業を行うのか学校としての方針を明確にし、推進担当部署を定めてその実現を図る。

(2) 募集・広報活動

- ・「飛鳥の良さ」を伝える項目の発掘、地域と連携した情報発信等を検討し推進する。

(3) 設備対応

- ・トイレ、照明等の改善を検討する。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 8 人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
3	1				4	

7 その他

- ・昨年度は全3回の学校運営連絡協議会のうち、第1回と第2回は書面開催とした。第3回は対面で実施した。
- ・今年度は全3回の協議会を対面で実施できたが、外部協議委員の欠席が昨年度に続き多かった。
- ・学校行事と同日開催とすることで、外部協議委員の方々に本校の様子を見ていただく機会を提供したい。